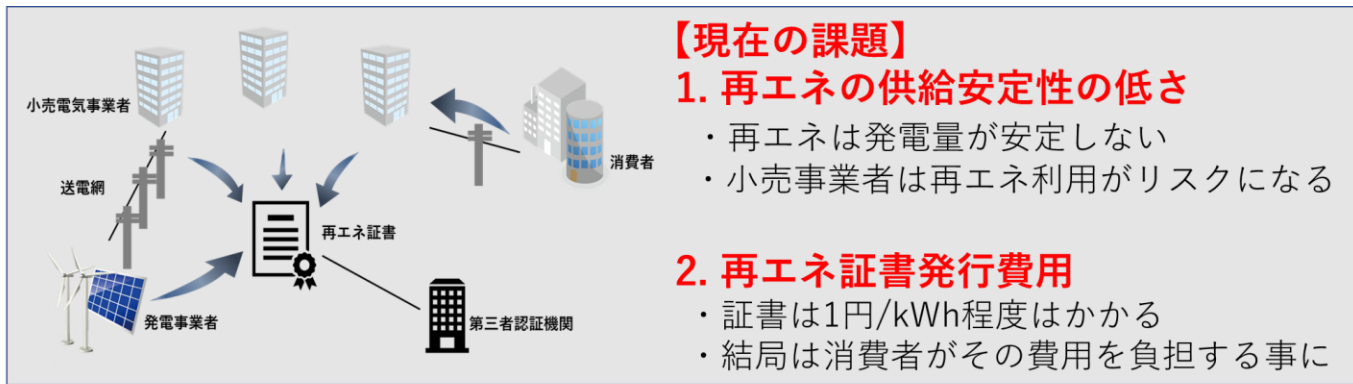


目的

世界的に注目されつつある脱炭素社会の実現、再エネの利用。
しかし現状では再エネ利用は利用者にも供給者にも負担を強めます。
我々はブロックチェーンを使い、「**安価に誰でも扱える再エネ**」を目指します。



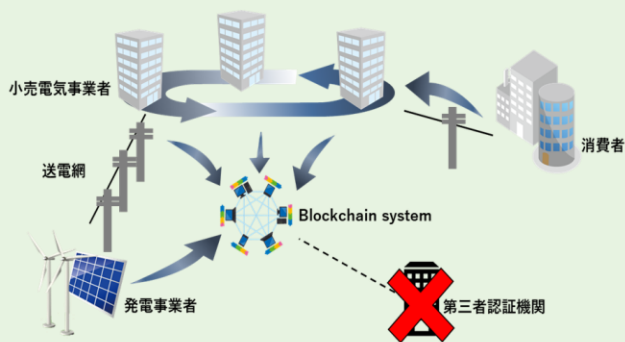
【目指す姿】

1. 再エネの供給安定性の向上

- ・各小売事業者の需給量を即時把握
- ・小売間の即時再エネ融通でリスクを低減

2. 再エネ証書不要

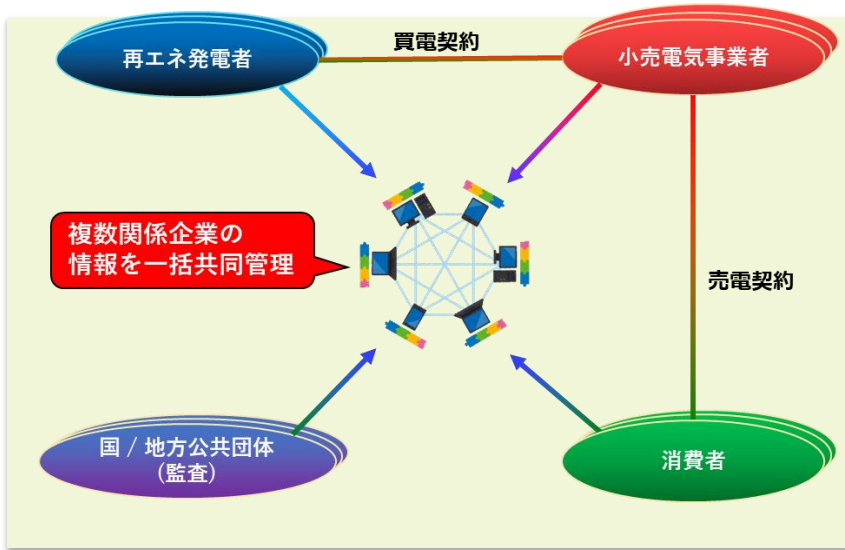
- ・ブロックチェーンで証拠性保証
- ・再エネインフラの自動化で維持費も安く



ブロックチェーンの メリット

ネットワーク上の複数のコンピュータでデータを共同管理するシステムです。
誰でも利用でき、不正困難で、証拠性が必要なデータ管理に向きます。

再エネ電力の証拠性共有は、各関係者にメリットをもたらします。



【再エネ発電者のメリット】

- ・再エネ自体の価値が向上する

【小売電気事業者のメリット】

- ・過不足は即時融通可能
- ・証書を不要にしコスト削減可能

【消費者のメリット】

- ・再エネ利用実績が証明される
- ・企業の環境貢献をアピール可能

【国 / 地方公共団体のメリット】

- ・標準化、自動化で監査が楽に